News Letter

[ニュース レター]

2023日10日登2

https://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/

01

卷頭言

産学官金の共創による 「上質な生活都市」を目指して



さいたま市長

清水 勇人

SHIMIZU Hayato

市が掲げている「さいたま市総合振興計画基本計画」及び「さいたま市産業振興ビジョン」では、将来都市像として「上質な生活都市」・「東日本の中枢都市」を目指しています。産業・経済分野では、技術提携や海外展開支援を通じた市内中小企業の競争力強化、東日本の玄関口としての地理的優位性を活かした、東日本地域との経済交流の活性化を図っているところです。

また、埼玉大学を含めた産学官連携により、 市内中小企業の技術力向上と新製品開発促進 のための支援、医療ものづくり都市構想の推進、 脱炭素先行地域の取組みなどを進めております。令和4年8月には埼玉大学とイノベーション創出連携に関する覚書を締結したところであり、今後も産学官金連携による「共同研究、社会実装のための協働および人材の育成・活用」について、連携を強化してまいります。

加えて、埼玉大学との連携により、オープンイノベーションの推進に向けて企業内にある課題の認識、解決への取組みを担う高度人材を育成するためのリスキリング事業を通して、企業のイノベーションをリードする人材の育成を支援してまいります。

本市の人口は2030年をピークに減少に転じ、2040年には市民のほぼ3人に1人が高齢者になることが予測されており、医療・介護・生活支援に対するニーズの増大・多様化が見込まれています。こうした課題の解決のためには、「共創」の理念のもと、様々なステークホルダーとの連携・協働が必要不可欠であると考えており、本年5月には「さいたま市・埼玉大学共同シンポジウム」を開催し、さいたま市の近未来の姿を産学官金共創で構築していくことを改めて確認したところです。

埼玉大学産学官連携協議会会員の皆様とともに、産学官金連携による地域課題の解決を通じて「上質な生活」を送れるまちづくりを推進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告 「第24回定期総会·産学官連携事例発表」
- 03 活動報告 「さいしんビジネスフェア2023」
- 04 活動報告 「AI時代の音・画像処理技術研究会」「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」
- 05 活動報告 「データサイエンス技術研究会」「金属積層造形技術研究会」
- 06 活動報告 「自動化のための力覚検知技術研究会」「人と協働するロボット技術研究会」
- **07** 活動報告 「3D-CAD & 3Dプリンター研修」「大学見本市 2023 ~イノベーション・ジャパン
- 08 学生活動紹介 「埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトFPSU」
- 09 学生活動紹介 「埼大学生広報サポーター」
- 10 新会員紹介
- 12 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

>> 活動報告

Report 1

「第24回定期総会・産学官連携事例発表」を開催



会長挨拶(原会長)



来賓祝辞 (関東経済産業局地域経済部/五十嵐部長)



来賓祝辞 (埼玉県産業労働部産業政策局/浪江局長)



来賓祝辞 (さいたま市経済局/矢口局長)

工大学産学官連携協議会では、 2023年6月5日(月)ソニックシティビル4階市民ホールにおいて、第24回定期総会(第1部)、産学官連携事例発表(第2部)交流会(第3部)を開催しました。定期総会、産学官連携事例発表は2022年度に引き続き対面による通常開催となり、交流会(懇親会)は実に4年ぶりの実施となりました。

総会開催に先立ち、2022年度事業報告案及び決算案、2023年度事業計画案及び予算案、役員交代の各号議案は、5月25日(木)に開催の運営委員会(メール審議)において運営委員による審議を行いました。

開催当日は、昨年を大きく上回る 110名の方にご参加いただきました。 第1部定期総会では、原俊樹会長の 挨拶にはじまり、続いてご来賓の関 東経済産業局地域経済部長 五十嵐 悟様、埼玉県産業労働部産業政策局長 浪江治様、さいたま市経済局長 浪江治様、さいたま市経済局長 矢口敦彦様からご祝辞を頂戴しました。引き続き、埼玉大学 坂井貴 文学長より挨拶がありました。総会開催定足数の確認後、原会長が議長となって議事を進行しました。各号議案について事務局より報告及び提案があり、全ての議案が原案通り承認されました。2023年度活動計

第2部の産学官連携事例発表では、AKKODiSコンサルティング株式会社 常務執行役員 伊佐俊紀氏より「日本の失われた30年を取り戻すために」と題し、特別講演が行われました。生産性向上へ向けたビジョンマッチングやDX等のテクノロジー活用の重要性、生成AIがもたらす社会変革予測等の話題をご紹介いただきました。



第1部 定期総会

別表1

埼玉大学産学官連携協議会 第24回定期総会各号議案議決結果

定足数

 6月5日時点会員数
 237会員

 出席会員
 53会員

 議長宛委任状受領
 121会員

会員数237に対し、出席会員及び議長宛委任状を合わせて174会員となり、本協議会規約第4章第17条(総会の定足数)における総会成立条件である3分の1以上の出席を満たす結果となりました。

各号議案

第1号議案	2022年度事業報告
第2号議案	2022年度決算
第3号議案	2023年度事業計画
第4号議案	2023年度予算
第5号議案	 役員の交代

結 果

出席会員の賛成及び議長宛委任状件数を合計し、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。



学長挨拶 (埼玉大学/坂井学長)



特別講演 (AKKODiSコンサルティング 株式会社/伊佐常務執行役員)



産学官連携事例紹介 (久保田教授)



産学官連携事例紹介 (有賀教授)



産学官連携事例紹介 (里川理事・副学長)

産学官連携事例/研究トピックスの紹介では、3件の講演を行いました。大学院理工学研究科 久保田尚教授より「産学官パートナーシップによる交通安全まちづくりの推進」と題し、講演いただきました。多くの実証実験例やあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(本協議会会員)との共同研究など多岐に渡る研究活動が紹介されました。

続いて、大学院人文社会科学研究科の有賀健高教授より「日本の今後のエネルギー政策」と題し、日本のエネルギーの基本計画から政策選択におけるトレードオフまで分かりやすく講演いただきました。

また、黒川秀樹理事(研究・産学官連携担当)・副学長より「社会変革研究センターの取り組みについて」と題し、2023年1月に設置された同セ

ンターの活動目的や、脱炭素推進部 門と地域共創研究部門の特徴、さら には各研究グループの研究内容につ いて紹介されました。

第3部の交流会(於:ソニックシティビル14階天空のジパング)にも引き続き多くの方に参加いただき、講演者や参加者の間で活発な交流が行われました。対教員あるいは会員企業・団体間での交流促進の機会

については、今後も形式を検討しな がらご提供していく予定です。



第3部 交流会(懇親会)

参加者アンケートより

大学との連携に求めるもの(複数回答可)

 学生の就職支援
 23

 技術者等の人材育成
 32

 講演会、セミナーなどでの情報提供
 20

 共同研究・技術開発・技術指導
 43

産学官連携事例発表 (第2部) についてご意見・ご感想

- ●生成AIの実例を紹介していただき、分かりやすかった。
- ●思っているより現実に研究が反映されていることに おどろいた。
- まちづくり、エネルギー、社会変革どれもが社会発展 の基礎となるもので、大きな意義があると思う。
- ●産学官で連携し、実際に設置まで至っている事例を 知ることができ、大変参考になった。

02

「さいしんビジネスフェア2023」に出展

工工 玉縣信用金庫が主催する「さいしんビジネスフェア2023」へ出展参加しました。地域密着型ビジネスマッチングイベントで、さいたまの中小企業力をテーマに埼玉県内外の約230企業・団体が出展しました。(ハイブリッド開催)

2023年6月7日(水) さいたまスーパーアリーナにて開催されたリアル会場では、埼玉大学産学官連携協議会各研究会の活動紹介、研究シーズ集や3D-CAD&3Dプリンター研修の受

講生募集等、来場者のニーズに沿った 展示・説明を実施しました。ブースへ の来場者数は前回開催時を上回り、コ ロナ禍を経て対面型イベントへの関心 が復調していることが伺えました。

リアル会場に先立ち、5月10日(水)



~6月30日(金)の期間はオンラインの特設サイトにも各種シーズを掲載し、 産学官連携活動のPRを行いました。



>> 活動報告

03

埼玉大学産学官連携協議会研究会報告

AI時代の音・画像処理技術研究会

代表:島村 徹也(大学院理工学研究科・教授) 事務局:金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

事の研究動向を学ぶと題し、第 4回研究会を6月28日(水)に開催しました。昨年実施したポスターセッションが気軽に意見交換できると好評でしたので、今回も研究動向の講演とともにポスター発表を設けました。



講演の部では、本学の小室教授に よる基調講演「画像からの人物姿勢推 定とユーザーインターフェース応用」 と、学生による騒音制御技術、画像で の金属質感再現に関する2件の研究 事例発表が行なわれました。基調講 演では空中ジェスチャーによる機器 操作に関する研究について、マーカー レスで画像から人物姿勢を推定する 技術や、微小な手のひらの向きの変 化で機器を操作するインターフェー ス、ディスプレイ前面のどの場所でも 操作が可能となる広範囲認識技術な どについての紹介がありました。

ポスターセッションの部では、島村・杉浦研究室および小室・入山研究室の学生によって12件の発表が行われました。学生達が日頃の研究成果を丁寧に説明することにより、参加した方の中から、気になった研究があったので今後も注目していきたい、といったご意見も寄せられました。また、



学生にとっても企業の方からの意見 を伺うことでとても刺激を受けたよう です。ポスターセッションでは気軽に 意見交換が出来ますので、研究動向 や企業ニーズの把握などでとても貴 重な交流ができたものと思います。

気軽な交流の機会をこれからも提供したいと考えますので、その際には 気兼ねなくご参加下さい。

埼玉グリーンインフラSDGS研究会

代表:藤野 毅(大学院理工学研究科・教授) 事務局:大久保 俊彦(産学官連携シニアコーディネーター)

見 沼耕作地にて5月に播種した モリンガがまるで密林のように 立派に成長し、9月は早くも収穫時 期を迎えました。晴天と猛暑が続き ましたがモリンガの成長にとっては プラスに働き、根から葉の上端までの長さ5mに達し、樹 幹の重量 は 6 kg、葉と枝は合わせて3 kgになり

ました。この 圃 場 で は 3000本 以上 が生育して おり樹林内は モリンガ独自



の香りがほのかに漂います。ジービック合同会社とともにまず200kg 相当の葉と枝を収集してモリンガ粉を生産する工場に送りました。これ



は国内産モリンガ入り 生パスタとして間もな くレストランに流通し ます。昨年は熱帯地域 に生育する通常タイプ のみを播種し、残念な がら開花は見られず越 冬もしませんでしたが、

今年はインド北部の寒冷地に適応したタイプも播種したところ初めてモリンガの開花が見られました。クマ蜂が花の蜜を吸いに来ており、受粉が成功すればシード(種)の生成が期待できます。

また今年は台風の通過により暴風 にならなかったものの強風に煽られ、 モリンガの折損が心配されました。 しかし、手が届く範囲で事前に葉と 枝を収集した幹が倒れることはありませんでした。さて、モリンガの成長がこれだけ早く、しかも大量にCO2を吸収することから、残った幹と根をバイオ炭にすることを検討しています。その製造過程で幹や根の破砕と乾燥が必要ですが、自然エネルギーで賄えればカーボンネガティブの寄与は大きく、6次産業の活性化と共にカーボンニュートラル社会の構築に貢献します。



データサイエンス技術研究会

代表: 平松 薫(大学院理工学研究科・教授) 事務局: 金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

上年、様々なデータを活用し、業務の効率化や客観的な判断を可能にするデータサイエンスが注目を集めています。しかし今のところ、データサイエンスの利用により利益を生み出している企業は少数にとうした状況下において先行グループに入れるように、参加者がデータサイエンスの最新動向と様々な企業の成功事例を知り、データ活用に役立つスキルを獲得できるように、企画・運営を行っています。



研究会初年度の2022年度は、研究会を3回開催し、延べ約100名の皆様にご参加いただきました。座学形式の概要紹介、外部講師を招いての最新事例の共有、ワークショップ形式で行った問題発見演習と多様な内容を取り上げ、実際にデータ分析を行う前に知っておくべきことをご紹介するこ



とができたと思っております。特に、ワークショップ形式で開催した第3回研究会では、データ分析において最も重要ともいえる問題発見とその深掘りの演習を行い、活発な議論を行っていただきました。

研究会2年目にあたる2023年度も3回の研究会開催を予定しています。今年度は技術的な内容を扱う予定で、大学院生向け授業からの抜粋や、企業の最前線で活躍されている外部講師によるチュートリアルを予定しています。是非ご期待ください。引き続き、皆様の業務に役立つ新たなヒントや最新技術に関する情報をご提供する予定ですので、皆様の研究会へのご参加と、ご意見・ご要望をお待ちしております。



金属積層造形技術研究会

代表:金子順一(大学院理工学研究科・教授) 事務局:宇田川秀幸(産学官連携コーディネーター)

全属積層造形(AM)技術は新たなものづくり技術として欧米だけでなく国内でも注目され、研究開発の段階から、製品製造への適用への検討が様々な業種で現在進められています。しかし、実製品への導入に際しては、製品設計や品質保証といった段階においても技術的課題の存在が認識され、これの解決に向けて産学





の一層の連携が必要とされています。 これに関連して、我々の研究会で は、関東近傍において先駆的な取り 組みを行っている企業・団体への見学 会を実施しております。今年度は、第 3回研究会を4月21日(金)に群馬県 立東毛産業技術センターおよび日本 ミシュランタイヤ株式会社 太田サイ トにて実施しました。東毛産業技術セ ンターでは、技術支援や研究開発に ついてご紹介いただき、施設を見学し ました。株式会社フジの吉田様より DEDプロセスと5軸制御切削加工機 による金型の高機能化へ向けた取り 組みについてご講演いただきました。 一般社団法人群馬積層造形プラット フォーム(GAM)からはこれまでの活 動紹介とAMアトリエの見学をさせて いただき、AM装置や周辺機器および、 安全対策に関する取り組みをご紹介

いただきました。また、第4回研究会では7月26日(水)に株式会社プロテリアル グローバル技術革新センター(GRIT)にて実施し、当社より材料開発や工程設計ソフトウェア等の技術紹介と実験施設を見学させていただきました。

参加者からはAM装置や技術そのものだけでなく、関連設備や安全対策など周辺技術に関する関心も高く、本研究会の取り組みについて好評をいただいております。今後も皆様のご要望に合わせて見学や講演会を企画してきたいと思います。皆様のご参加とご意見・ご要望をお待ちしております。



>> 活動報告

自動化のための力覚検知技術研究会

代表: 辻 俊明 (大学院理工学研究科・准教授) 事務局: 藤山 斉 (産学官連携コーディネーター)

上ながら高度な組立を実現するロボットが増えてきています。多様な動作が求められるロボットでは、検出範囲(ダイナミックレンジ)の広い力覚センサが必要となり、このセンサを使用することにより微妙な力加減を要する組立や研磨等の熟練作業の自動化が可能となります。また、職人の技能に匹敵する動作を生成するため位は機械学習技術を応用した教示が必要になります。以上のような背景を

踏まえ、本研究会は自動化のための 力覚検知技術の基礎・応用技術を習 得し、社会・産業界のニーズ解決に貢 献することを目的として設立しました。

6月14日(水)には所属する会員を対象に、第1回研究会を埼玉大学にて開催しました。最初に会員が所属する会社紹介を行い、どの様な業種から参加したかをお互いに知ってもらいました。続く講義では、力覚センサを用いたロボット技術の背景、力覚センサの基礎技術、応用展開、具体的

ニーズを取り上げ、研究室で扱っている技術紹介しました。その後の意見交換では、活発な議論が行われ、会員から社内における具体的なニーズ、応用展開等を聞くことができました。

当面は技術の基礎を知っていただくため、研究室で扱う技術の実機見学、各会員のニーズに合わせた技術説明等の活動を予定しております。また、最新技術動向や新たなニーズ探索についても継続して実施予定です。





人と協働するロボット技術研究会

代表:小林 貴訓(大学院理工学研究科・教授) 事務局:藤山 斉(産学官連携コーディネーター)

下文 府が中心となり働き方改革が進められる中、働きやすい環境づくりも重要な要素の一つとなっています。このような背景の下、本研究会では「人と協働するロボット」がどのような役割を果たせるのかについて考えてゆきます。



本年度から活動を始めた「人と協働するロボット技術研究会」ですが、その第1回目の公開セミナーを7月12日に開催致しました。第1回目であることから、代表の小林から「人と協働するロボットの仕組みとその活用」として、自律移動ロボットの技術概要や活

用事例についての紹介がありました。 講演では、あらかじめ作成された地図 に基づいて移動ロボットが自分の位 置を認識する自己位置推定の原理や、 ユーザの位置を認識してロボットが 一緒に移動する仕組みなどについて の紹介がありました。また、人と一緒 に移動するロボット技術の応用事例 として、車いす型の移動ロボットや、 工場での部品搬送ロボット、農業での 収穫支援ロボットなどの活用事例が 紹介されました。第1回セミナーでは、 12社から16名のご参加を頂き、講演 後の質疑では、現在の技術動向や、

実用上の問題点などについて、活発な議論が行われました。セミナーの最後には、埼玉大学

で開発中の移動ロボットとして、ロボット車いすと搬送ロボットのデモが行われ、人への追従や障害物回避の様子など、実際の動作を見ながらの議論が行われました。

本研究会では、技術的な内容だけなく、センシング技術やロボット技術がどのような分野で応用できそうかなどの、今後の活用の可能性について、様々な分野の企業の皆様と意見交換をさせて頂きたいと考えております。多くの皆様にご参加頂き、研究会でお会いできることを楽しみにしております。





お問合せ 埼玉大学産学官連携協議会事務局 (048-858-9064 / s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp)

Report 04

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

年度の3D研修も、昨年度同様に、3D-CAD初学者や独学でつまずいた方々にも分かりやすく、また、スキルのある方には実践的な3D-CADの機能操作を学ぶ機会として開催しております。

講師陣は、埼玉大学大学院理工学研究科の阿部准教授、埼玉大学研究機構総合技術支援センターの技術職員、そして実務経験豊富な企業内技術教育の専門家から構成し、3D-CADの超基本から応用操作までに対応できる布陣です。



受講生の多様なニーズに応えるため、8つの異なるコースを設定しました。初学者へは一例として、「1日で学ぶ!超入門コース」を設定しました。経営者の方や、発営者のために業けるとが難しい方をあけへ、3D-CADのスキルを短期間で習得できるよう

にコース設定をし、好評を得ております。また、スキルアップを目指す方に向けて3D-CADの持つ静的応力解析の機能の使い方を学ぶ応力解析コースも根強い人気がございます。

この研修を通じて、技術系の知識を持たない方でも、自信を持って3D-CADを操作できるようになること



を目指します。キャリアの発展に役立つ3D-CAD操作スキルを習得し、新たな挑戦に備えるお手伝いができるのではないかと考えております。後期日程は裏表紙(P12)のとおりです。ぜひ受講をご検討くださるようお願いいたします。詳細はお気軽にお問い合わせください。

05

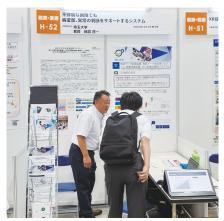
「大学見本市2023~イノベーション・ジャパン」へ出展

4 年ぶりのリアル開催となった 「大学見本市2023~イノベーション・ジャパン」に出展しました。



(会期:8月24日(木)、25日(金) /会場:東京ビッグサイト南展示棟南1ホール)本イベントは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が主催する国内最大規模の産学連携マッチングの場です。20回目となる今回は、日本全国にある125の大学などから276件の特許技術シーズ(出願中を含

む)が6つの分野別に出展され、総来 場者数10,432名と多くの関心を集め ました。埼玉大学からは、健康・医療 分野において、大学院理工学研究科 綿貫啓一教授の研究成果「不鮮明な 画像でも病変部、異常の判断をサ



ポートするシステム」が採択され、展示・解説を行いました。画像認識を活用し、病変部のマーキングが可能になるシステムで、医療現場の判断作業低減に資する技術です。

会場では、来場者と出展者間で活 発なやり取りが見られ、セミナー等も 盛況で、久しぶりの対面開催に参加 者の関心の高さがうかがえました。

なお、技術シーズの紹介動画は、 埼玉大学公式YouTubeチャンネルに てどなたでも視聴いただけます。是 非ご覧ください。





学生活動紹介

原稿担当

樹玉大学工学部 機械工学・システムデザイン学科3年 埼玉大学学生 フォーミュラブロジェクトFPSU ブロジェクトリーダー

吉田 周平

埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトFPSU



DATA

団体名称: 埼玉大学学生フォーミュラプロジェクト

代表者:吉田 周平

構成人数:22名(B4:4名 B3:3名 B2:5名 B1:10名)

活動内容: 学生自らの手でフォーミュラーカーを設計・製作・走行させる





概要活動

埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトは学生自らの手でフォーミュラーカーを設計・製作するサークルです。毎年開催される「全日本学生フォーミュラ大会」に参加しており、そこでより良い結果を残せるように日々精進しています。主な活動はCADを用いた設計や実践的なものづくり経験のほか、チームマネジメント・渉外等多岐にわたります。埼玉大学産学官連携協議会の会員企業様を含む、様々な方々のご支援のもと、私たち埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトは活動を行っております。



活動風景



活動実績

私たちは2015年に数名の有志により設立された比較的若いチームです。2017年全日本学生フォーミュラ大会に初参戦し、車検突破、走行競技への進出を果たし、日本大会初参加で最も得点の高いチームに送られるルーキー賞を頂きました。2018年以降も学生フォーミュラ大会に継続的に出場し、総合順位は70位(2年)、



チームメンバー写真

42位(2018年)、12位(2019年)、11位(2022年)と着々とチーム力がついてまいりました。しかし、2023年度は大会経験の豊富なメンバーの引退や新型コロナウイルスによる影響からチーム力が低下し、総合48位という大変悔しい結果となりました。



今後の展望

現在は2024年大会に向けて新たなチーム体制になり、1年10名、2年5名、3年3名、4年4名の合計22名で活動しています。昨年度大会で達成することができなかった全種目完

走を第一の目標に掲げ、 我々は新しいマシン SU-07について検討を 行っているところです。 これから新規マシンの 概念・詳細設計に フェーズは進みますが、 昨年度の設計・製作の 経験、前年度マシン SU-06の走行データの 分析を踏まえ、より 最適な設計を行っ ていきたいと考えて います。

私たちの最新の活動はホームページ、X(旧Twitter)にてご覧いただけます。

また、私たちの 活動に対してご質 問やご興味等あり

ましたら下記連絡先にてご連絡お願い致します。

連絡先:

yoshida.s.574@ms.saitama-u.ac.jp ホームページ:

https://fpsuhp.wixsite.com/fpsu X(IHTwitter):

https://twitter.com/Formula_FPSU



埼玉大学学生フォーミュラ fpsuhp.wixsite.com



X (旧Twitter) https://twitter.com/Formula_FPSU





学生活動紹介

原稿担当

埼玉大学工学部 環境社会デザイン学科3年 埼大学生広報サボーター 山内翼

埼大学生広報サポーター



DATA

団 体 名 称: 埼大学生広報サポーター

構成人数:21名(1年:5名 2年:5名 3年:3名 4年:6名 修士2年:2名)

活動内容:大学広報・地域連携

問い合わせ:総務部広報渉外課(TEL:048-858-9213)



01

概要説明

埼大学生広報サポーターは、2022年10月に発足しました。埼玉大学が推進する自治体や商工団体とのまちづくりの活動に関して、学生ならでは取り組みでの地域活性化と埼玉大学のPRを行うことを目的に活動しています。現在、全5学部、1年生から大学院生の計21名のメンバーが活動に取り組んでいます。



活動実績

魅力発見!! さいたま新都心フォトコンテスト

2022年12月からさいたま新都心エリアの魅力発見を目的に開催されたフォトコンテストに協力させていただきました。この活動では、コンテストのポスターに使用する写真の撮影や、PR動画の制作を行いました。私たち自身にとっても大学近くにあるさいたま新都心の魅力を再発見した機会となりました。

「埼大学生広報サポーター Presents 想いつながるクリスマスツリー ~みんなの願いでツリーが育つ~」

さいたま新都心エリアの賑わい創



出を目的として、クルではないである。 リスマスに家族にでない。 リスマスに家族にでいる。 リスマーゲットップである。 リークショップトップである。 はして、当日がのではないでいる。 はいしないではないでの方にといるでいた。 というではないでのかられただってのかられた。 というではないでのからないではないでのかられただってのからない。

ベントを作るのは初めてのことだった ので大変なこともありましたが、多く の方が楽しんで参加しているのを見 て、非常にうれしかったです。

出張!! 絵本よみきかせ会

子どもたちを対象としたよみきかせイベントを、株式会社未来屋書店与野店と北浦和店の2か所で実施しました。どのようにして子どもたちに飽きずに絵本を楽しんでもらうか考えながら、本をよみきかせするだけでなく、手遊びを交えながら楽しく実施しました。





埼玉県内の地域活性化へ







(例)

・ ●顔品開発(地元グルメ、土産品)

・ 企画会議に参加してアイデア出しなど

・ ●まちづくり(商店部活性化、空き店舗対策)

・ 現地棟察、会議・の参加など

・ タイベント(賑わい側出)

・ 企画、運営など

学生の視点から地域の発展に貢献する。

埼大学生広報サポーターの公式 Instagramアカウントの運用 (@saidaisps)

埼玉大学の情報やメンバーが好きな大学近隣スポット、イベント告知など、幅広く投稿し、埼玉大学のPRに貢献できるように取り組んでいます。メンバーそれぞれの目線から埼玉大学のPRにつながるように投稿を工夫して取り組んでいます。

nterview 03

今後の展望

現在は近隣自治体と連携し、地域の魅力発信につながる紙媒体の制作に取り組んでいます。今後も埼玉県を中心とした地域活性化に向けての取り組みや、埼玉大学のPRを継続していきます。また、自治体との連携をさらに強化して、メンバーからの要望も多い、まちづくりや商品開発に携わる活動もしていきたいと考えています。

連携をご希望の場合は、埼玉大学 HPよりお申し込みください。 埼玉大学産学官連携協議会

新会員紹介

01 株式会社プロセス・ラボ・ミクロン

電子回路の実装や、半導体パッケージ製造用のメタルマスクを開発、製造しています。フォトリソグラフィーを用いた電鋳、エッチングや、レーザ加工技術、表面処理技術による金属微細加工を得意としています。工法からサポート体制までさまざまな技術メニューをご用意し、お客様のあらゆるご要望にピンポイントでお応えしています。

① 製造業

(電子回路実装用メタルマスク製造)

- ② 埼玉県川越市芳野台1-103-52
- 3 049-226-3111
- ④ 1967年(昭和42年)5月23日
- ⑤ 代表取締役社長 木全 幸治
- ⑥ 常に先駆者であり続ける



2024年3月川越テクノロジーセンター竣工

02

田辺工業株式会社

トータルエンジニアリング会社として、プラント建設、省力自動化メカトロニクス、スマートファクトリー、パワーエレクトロニクスなどを通し、幅広く社会に貢献しております。

「ものづくりのためのモノづくり」を企業スローガンとし、普段、 皆様がお使いになる様々な商品を生み出す設備を、川上から川 下まで一貫してご提案している企業です。

- ① 建設・製造業(プラント機器設置、 自動化ロボット機器、デジタルイノベーション、 パワーエレクトロニクス)
- ② 新潟県上越市/東京都千代田区
- ③ 025-545-6500 / 03-6275-0275
- ④ 1969年(昭和44年)2月1日
- ⑤ 代表取締役社長 水澤 文雄
- ⑥ ものづくりのためのモノづくり



TANABE Filling Systems

TANABE Packing Systems

03

AKKODiSコンサルティング株式会社

これまでテクノロジーソリューション事業をグローバルで展開してきた Modisが、上流領域のコンサルティングから、現場の保守・運用まで、エンドツーエンドの包括的なコンサルティングを提供する、まったく新しい会社『AKKODiSコンサルティング株式会社』へ生まれ変わりました。企業の生産性を高めるDXやビジネストランスフォーメーションを実現する力となり、イノベーションと成功をわかち合うパートナーへ。多くの企業の成長、社会との共創とともに、日本を『課題解決先進国』に変えてまいります。

- ① コンサルティング事業、開発請負事業、 教育事業、派遣事業、フリーランス事業 有料職業紹介事業
- ② 東京都港区芝浦 3-4-1 グランパークタワー 3F
- ③ 03-5419-8880
- ④ 2004年(平成16年)2月10日
- ⑤ 代表取締役 川崎 健一郎
- ⑥ 日本を、課題解決先進国に。



04

名古屋電機工業株式会社

道路や河川などの道路板から気象センサーまで、道路交通情報を表示する道路情報板の開発、製造、販売、施工、メンテナンスをトータルでサポートし、安心・安全・快適に社会インフラを利用することができるよう、防災・減災に役立つシステムを提供しています。また、車載標識や散光式警告灯などの車載製品の開発、製造、販売も行っており、道路利用者と道路作業者の双方が、安全を確保するために役立つシステムを提供しています。

- ① 道路情報版をはじめとした道路情報 関連の製品・システムの開発、製造、 販売、施工、メンテナンス
- ② 愛知県あま市篠田面徳29-1
- ③ 052-443-1111
- ④ 1958年(昭和33年)5月17日
- ⑤ 代表取締役社長 服部 高明



05

サッカードットコム株式会社

サッカーに関連するあらゆるサービスを提供するポータルサイトを運営するサッカー事業を展開しています。①メディア・IT『高校サッカードットコム』:高校サッカーの最新ニュースや試合情報配信メディア②アパレル『JOGARBOLA』:自社スポーツアパレルブランドの企画・製造・販売③人工芝『スポーツ施工ドットコム』:サッカーコートやテニスコート・校庭や遊休地の人工芝施工や設計

- ① サッカー関連 メディア/ IT事業、小売業、サービス業
- ② さいたま市浦和区仲町 1-11-12 さくらビル浦和 I-6階
- ③ 048-832-2801
- ④ 2015年(平成27年)12月17日
- ⑤ 代表取締役 古部 亮
- ⑥ サッカーで笑顔に



(2023年2月~2023年9月 入会申込順)

DATA ▶▶ ①事業内容 ②本社所在地 ③電話 ④設立年月日 ⑤代表 ⑥社是またはモットー

06

田中建設工業株式会社

弊社は解体工事並びにそれに付随する各種工事の施工管理 を行っています。解体工事専業の企業としては業歴40年を超え、 業界初の上場企業として、銀行や大手デベロッパーから高い信 頼をいただいております。環境に配慮した安全施工を実現させ、 将来にわたりお客様に信頼される企業を目指しています。

- ① 建築構造物の解体工事並びにそれに 付随する各種工事の施工管理
- ② 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階
- ③ 03-6264-5520
- ④ 1982年(昭和57年)2月
- ⑤ 代表取締役社長 中尾 安志
- ⑥「子供たちに何が残せるか」を常に考え、社業を 通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。



07

株式会社明和

自動車の機能・性能を高めるという理念の基に、アフターマー ケット用パーツの開発、製造、販売をおこなっております。

今までの常識に囚われない商品の開発や製造を通して自動車 の満足度を高めると共に、自動車の発展に貢献していくことで未 来に向けた新しい価値観を生み出していきたいと考えています。

- ① 自動車部品の企画・製造・販売
- ② 埼玉県越谷市東越谷7-12-8
- ③ 048-966-3551
- ④ 1987年(昭和62年)2月
- ⑤ 代表取締役 藤森 正信
- ⑥安全で快適な自動車社会を目指す



08

一般社団法人 埼玉中小企業家同友会

当会は中小企業家(中小企業経営者)が自主的な努力によっ て、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要 求される、総合的な能力を身につけることをめざしています。ま た、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社 会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定 させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- ① 経済団体(経営者団体)
- ② 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ10F
- ③ 048-747-5550
- ④ 1974年(昭和49年)4月24日
- ⑤ 代表理事 太田 久年·小松 君恵 米山 正樹



新規会員をご紹介ください

- 埼玉大学産学官連携協議会入会メリット-

研究会活動に参加できます

「AI時代の音·画像処理技術研究会」「埼玉グ リーンインフラSDGs研究会」「データサイエ ンス技術研究会」「金属積層造形技術研究会」 「自動化のための力覚検知技術研究会」「人と

協働するロボッ ト技術研究会」 が活動中です。 新規研究会 テーマも随時 募集中です。



(産学交流会(テクノカフェ)に参加できます)

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介 と、大学と企業等のマッチング等をおこなう オープンイノベーションの場を提供します。



最新情報をお届けします

・ニュースレター(年2回発刊) インフォメーションメール配信 会員企業・団体に有益な情報 や研究シーズ紹介、会員企業 紹介、イベント情報等を提供 します。



埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して 魅力を発信する機会である学内合同企業説 明会に参加できます。

〈年1回〉



お問合せはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学オープンイノベーションセンター(COIC)内 電話: (048) 858-9064

E-mail: s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp URL: https://www.saitama-u.ac.jp/coalition/ kyougi/kyougi_about/





2023年度 オープンイノベーションセンター

産学官連携活動カレンダー (予定表)

	月日	イベント	場所	
	5(木)~ 6(金)	3D-CAD &3Dプリンター研修 3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
	9(月·祝)	3D-CAD &3D プリンター研修 1日で学ぶ!3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
	12(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第3回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
	12(木) ~ 13(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3D-CAD 入門コース	埼玉大学	
10	16(月)~ 17(火)	3D-CAD &3Dプリンター研修 3D⇒2D図面コース	埼玉大学	
	19(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第4回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
	25(水)	埼玉りそな産業経済振興財団創立60周年記念シンポジウム	埼玉大学	
	26(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第5回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
	26(木) ~ 27(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3軸ロボット設計+プログラミングコース	埼玉大学	
	2(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第6回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
	3(金・祝)	3D-CAD &3D プリンター研修 1日で学ぶ!3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
	9(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第7回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
	9(木)~10(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
	10(金)	第24回埼玉大学産学交流会テクノカフェ&産学連携支援センターマッチング会	埼玉大学	*
11	16(木)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第8回	埼玉県産業振興公社(北与野)	
11	16(木)	JST新技術説明会	JST東京本部別館	
	17(金)	金属積層造形技術研究会	株式会社JMC	*
	22(水)	第18回東和新生会ビジネス交流会	Gメッセ群馬	
	22(水)	AI時代の音・画像処理技術研究会	埼玉大学	*
	24(金)~ 26(日)	第73回むつめ祭(学園祭)	埼玉大学	
	30(木)~12/1(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3D 設計造形入門コース	埼玉大学	
	7(木)~ 8(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
12	14(木)~ 15(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3軸ロボット設計+プログラミングコース	埼玉大学	
12	15(金)	データサイエンス技術研究会	埼玉大学	*
		第4回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	メール審議	*
	4(木)~ 5(金)	3D-CAD &3Dプリンター研修 応力解析コース	埼玉大学	
1	11(木)~ 12(金)	3D-CAD &3D プリンター研修 3D-CAD 超入門コース	埼玉大学	
	$25(木) \sim 26(金)$	3D-CAD &3D プリンター研修 3軸ロボット設計+プログラミングコース	埼玉大学	
		彩の国ビジネスアリーナ2024(産学連携フェア)	さいたまスーパーアリーナ	
2	11(日)~ 17(土)	埼玉大学合同オープン・カンパニー	オンライン	*
	$21(水) \sim 22(木)$	3D-CAD &3D プリンター研修 CAD・CAMコース	埼玉大学	
		第5回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)		_

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官交流会

第24回 テクノカフェ

埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催いたします。 多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

	日時	•	2023年 11 月 10 日(金)13:30~17:30		
	会 場	Þ	埼玉大学総合研究棟 1 号館 1 階シアター教室ほか		
	第1部	•	基調講演 「スタートアップのリアル〜イノベーションに立ちはだかる課題と乗り越え方〜」 講師:Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長 CEO 中島 徳至氏		
	第2部	>	大学研究シーズのご紹介:大学教員研究成果等の事例発表		
	お申込み	•	事前登録制:右記 QR コードを読み取り、参加申込フォームからお申し込みください。 https://www.saitama-u.ac.jp/coalition/topics/2023/techno2023.html		

発行 埼玉大学産学官連携協議会 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学オープンイノベーションセンター (COIC)内

 $TEL: 048-858-9064 \quad E-mail: s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp\\ URL: https://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/$